

1.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

教育庁総務課長 松本 新吾

電話番号

0852-22-5407

事務事業の名称	「しまね教育の日」推進事務	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	県民一体となって本件教育の課題を解決していけるような機運を盛り上げるためにさまざまな取組を行う。
事業概要	「しまね教育の日」の趣旨にふさわしい取組として、教育フォーラム等の「しまね教育の日」関連行事を開催。	

2.成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数（延べ数）	目標値		425,000.0	425,000.0	425,000.0	425,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 達成率＝「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数（実績値）／（目標値）×100	実績値	424,664.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3.事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	900	800
うち一般財源 (千円)	900	800

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5.評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成27年度「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数：424,664人（前年度411,781人）
平成27年度「教育の日フォーラム」の参加者数：100人（前回（H26）：100人）

6.成果があったこと（改善されたこと）

県民に「しまね教育の日」の意識が定着してきており、県・市町村・学校・PTA・公民館活動等で実施する「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数は増加している。

7.まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

「しまね教育の日」の中心として開催している「教育の日フォーラム」参加者のほとんどが教育関係者である。

②困っている状況が発生している「原因」

一般県民への周知方法が、県ホームページ及び県庁記者室投げ込みに頼っているため、一般県民のフォーラム開催の情報へのアクセスが限られている。

③原因を解消するための「課題」

一般県民に参加してもらうためには、フォーラムの開催情報を目にしてもらうことが必要であり、周知方法を拡充する必要がある。

8.今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

「教育の日フォーラム」に教育関係者だけでなく、より多くの人が興味を持ち、参加してもらえるよう、内容や周知方法を工夫する必要がある。

9.追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。